

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 41

平成30年3月30日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	宍道湖西岸地区大区画ほ場整備により米の低コスト生産を目指す！ ～多収穫米「しきゆたか」実証ほ2年間の成果と今後の方向性～
------------	---

(ダイジェスト)

宍道湖西岸地区大区画ほ場整備後における米の生産について、「米60kgあたり生産費9,600円未満」を目標に低コスト生産を実践するため同地区農村整備推進協議会（多久和修一会長）と出雲農業普及部等関係機関が、平成28年から多収穫米「しきゆたか」の実証ほを設置しました。この度、その成果及び課題等がまとまりましたので、以下により報告します。

当地区では、「売れる米づくり」の一つとして、外食等の業務用として実需者と結びついたF1ハイブリッド米「しきゆたか」について28年度から実証試験を実施しました。

これは、担い手の米の生産コストについて、現状の11,027円/60kg（H25島根県調査、コシヒカリ）からほ場整備後に9,600円/60kg未満を目指すための一環であります。

28年産は、752kg/10a・2等米、29年産は705kg/10a・1等米で、2年連続で700kg/10aを超える成果が得られました。

なお、28年産「しきゆたか」は、豊田通商を通じて全量をCGCグループに出荷、沖縄県内のCGC店舗において総菜用弁当向けPBとして使用されております。

坪刈収量結果 10aあたり、(農)ヨコハマ、(農)下出来洲の平均値

	全重	わら重	粳重	粗玄米重	水分	精玄米重
平均値	1,659kg	624kg	897kg	734kg	13.9%	734kg

米粒重調査結果 (農)ヨコハマ、(農)下出来洲の平均値

	2.2mm以上	2.2~2.1mm	2.1~2.0mm	2.0mm未満	合計
平均値	6.1g	7.4g	61.5g	25.0g	100g

30年度以降については、実証段階から普及段階に順次切り替え、ほ場整備に併せ面積を拡大、目標年次に多収穫米「しきゆたか」等140haの栽培に取り組む予定です。



【9/26、収穫直前のしきゆたか】